AX3800S
AX3600S
AX2400S

ALAXALA　AX3800S・AX3600S・AX2400S

ハードウェア取扱説明書　訂正資料

2014 年 7 月 11 日発行(第 3 版)

■はじめに

本資料は，AX3800S・AX3600S・AX2400Sハードウェア取扱説明書（Copyright (C) 2005, 2014, ALAXALA Networks Corporation. All rights reserved.）の訂正内容について説明するものです。

本装置をご使用になる時は，この資料を必ずお読みください。

本資料の対象となるマニュアルを以下に示します。

項番	マニュアル名称	マニュアル番号
1	ALAXALA　AX3800S・AX3600S・AX2400Sハードウエア取扱説明書	AX36S-H001-A0

■商標一覧

・Ethernetは，富士ゼロックス株式会社の登録商標です。
・イーサネットは，富士ゼロックス株式会社の登録商標です。
・Windowsは，米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
・その他，各会社名，各製品名は，各社の商標または登録商標です。

■ご注意

この訂正資料は，改良のため，予告なく変更する場合があります。

■発行

2013年7月29日発行(初版)
2013年12月10日発行(第2版)
2014年7月11日発行(第3版)

■著作権

目　次

表紙（カバーページ P1～4）

「■対象製品」を下記のように訂正します。（カバーページ P2）

【訂正】

本マニュアルは AX2400S シリーズの AX2430S-24T，AX2430S-24T2X，AX2430S-48T，AX2430S-48T2X，AX2430S-24TD，AX2430S-24T2XD，AX2430S-48TD の 7 モデルと，AX3600S シリーズの AX3630S-24T，AX3630S-24T2X，AX3630S-24P，AX3630S-24TD，AX3630S-24T2XD，AX3630S-24S2XW，AX3630S-48TW，AX3630S-48T2XW，AX3640S-24T，AX3640S-24TW，AX3640S-24T2XW，AX3640S-24SW，AX3640S-24S2XW，AX3640S-48TW，AX3640S-48T2XW，AX3650S-24T6XW，AX3650S-48T4XW，AX3650S-20S6XW の 18 モデルと，AX3800S シリーズの AX3830S-44XW, AX3830S-44X4QW, AX3830S-44X4QS の 3 モデルについて内容を記載しています。

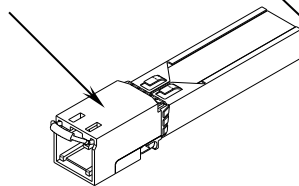
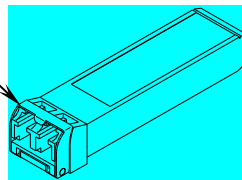
ただし，AX3600S シリーズの AX3630S-24T，AX3630S-24T2X，AX3630S-24P，AX3630S-24TD，AX3630S-24T2XD，AX3630S-24S2XW，AX3630S-48TW，AX3630S-48T2XW の 8 モデルは生産・販売を終了しています。
同様に，予備電源機構（EPU）の EPU-B と，電源モジュールの EPU-BM と，メモリカードの SD128，SD128(T)と，トランシーバの SFP-T(T), SFP-FX(T), SFP-SX(T), SFP-SX2(T), SFP-LX(T), SFP-LH(T), SFP-LHB(T), SFP-BX1U(T), SFP-BX1D(T), SFP-BX4U(T), SFP-BX4D(T), XFP-SR(T), XFP-LR(T), XFP-ER(T)，XFP-ZR(T)も生産・販売を終了しています。

安全にお取り扱いいただくために（安全-1～安全-16）

「■SFP-T，SFP-T(T)動作中および動作停止直後は手を触れないでください。」を下記のように訂正します。（安全-9）

【訂正】

■ SFP-T，SFP-T(T)，SFPP-ZR動作中および動作停止直後は手を触れないでください。

- SFP-T，SFP-T(T)，SFPP-ZR動作中(リンク確立中)の温度は，最高65℃になります。動作中および動作停止直後は手を触れないでください。やけどの原因となります。

なお，SFP-T，SFP-T(T)，SFPP-ZRを取り外す場合は以下の手順に従ってください。以下の手順に従わないとやけどの原因となります。

・装置の電源を入れたままで取り外す場合は，SFPスロット，SFP+スロットを閉塞してから5分後に取り外す

・装置の電源を切断して取り外す場合は，電源を切断してから5分後に取り外す

SFP-T，SFP-T(T)，SFPP-ZRには以下のラベルを貼り付けています。

「■トランシーバと装置は正しい組み合わせで使用してください。」を下記のように訂正します。
（安全-14）

【訂正】

- SFP-FX，SFP-FX(T) をサポートしているのは以下の装置です。それ以外の装置で使用しないでください。装置故障の原因となります。
  ・AX3640S-24SW（対象ポート 5 ～ 24）
  ・AX3640S-24S2XW（対象ポート 5 ～ 24）
  ・AX3650S-20S6XW（対象ポート 1 ～ 20）

- SFP-SX2，SFP-SX2(T) をサポートしているのは以下の装置です。それ以外の装置で使用しないでください。装置故障の原因となります。
  ・AX2430S シリーズ
  ・AX3630S シリーズ
  ・AX3640S シリーズ
  ・AX3650S-20S6XW（対象ポート 1 ～ 20）

- SFPP-ZR をサポートしているのは以下の装置です。それ以外の装置で使用しないでください。装置故障の原因となります。
  ・AX3650S シリーズ
  ・AX3830S シリーズ（対象ポート 37 ～ 44）

「■トランシーバと装置は正しい組み合わせで使用してください。」の後に下記を追加します。
（安全-14）

【追加】

■ SFPP-ZR は動作中（リンク確立中）の温度は，最高 65℃に達するため，
SFPP-ZR を 40℃を超える環境で使用しないでください。
使用した場合，誤動作，故障の原因になります。

- system temperature-warning-level コマンドで，装置の入気温度が指定温度以上になった場合に運用メッセージを出力することができます。コマンドの詳細についてはコンフィグレーションコマンドレファレンスを参照してください。

1. 機器の概要（P1～P126）

1.7.2 SFP+

表 1-47 を下記に訂正します。（P113）

【訂正】

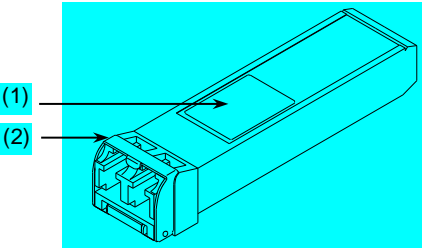
表 1-47 SFP+一覧

番号	モジュール名称	インターフェース	サポートするモデル
1	SFPP-SR	10 ギガビットイーサネット 10GBASE-SR	AX3650S シリーズ AX3830S シリーズ
2	SFPP-LR	10 ギガビットイーサネット 10GBASE-LR	
3	SFPP-ER	10 ギガビットイーサネット 10GBASE-ER	
4	SFPP-ZR	10 ギガビットイーサネット 10GBASE-ZR	AX3650S シリーズ AX3830S シリーズ（対象ポート 37 ～ 44）

（4）に SFPP-ZR を追加します。（P114）

【訂正】

（4）SFPP-ZR

図 1-113a 外観

（1）ラベルの表示：AlaxalA SFPP-ZR
（2）レバーの色：白

NOTE

SFPP-ZR は AX3650S シリーズ，AX3830S シリーズのポート 37～44 でサポートしています。

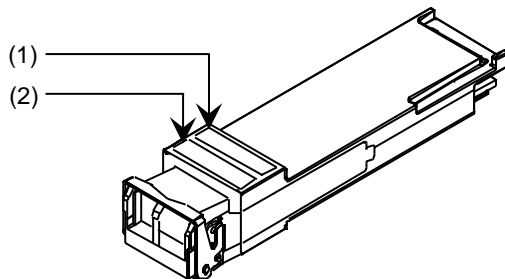
1.7.4 QSFP+

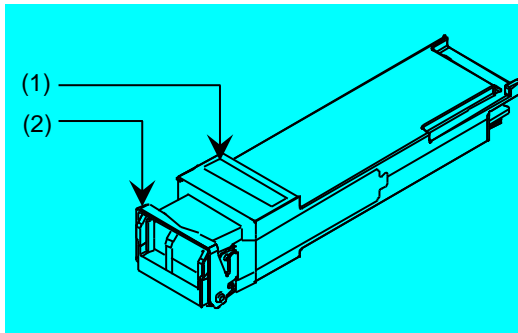
（2）QSFP-LR4 にモジュール B タイプを追加します。（P119）

【訂正】

（2）QSFP-LR4

図 1-119 外観

●モジュール A タイプ

（1）ラベルの表示：AlaxalA QSFP-LR4
（2）ラベルの色：青

●モジュール B タイプ

（1）ラベルの表示：AlaxalA QSFP-LR4
（2）レバーの色：青

NOTE

QSFP-LR4 にはモジュール A タイプとモジュール B タイプの 2 タイプのものがありますが、機能上の違いはありません。

2. 設置の準備（P127～P162）

2.2.1 一般設備条件

表 2-7 を下記に訂正します。（P134）

【訂正】

表 2-7　AX3650S シリーズ装置本体の一般設備条件

項　目		モデル名称					
		AX3650S-24T6XW		AX3650S-48T4XW		AX3650S-20S6XW	
		PS-A03 搭載時 PS-A05 搭載時	PS-D03 搭載時	PS-A03 搭載時 PS-A05 搭載時	PS-D03 搭載時	PS-A03 搭載時 PS-A05 搭載時	PS-D03 搭載時
寸法（W×D×H）*1		445×500×43mm					
質量*2		9kg 以下					
入力電圧	定格	単相 AC 100～120V, 200～240V*3	DC-48V	単相 AC 100～120V, 200～240V*3	DC-48V	単相 AC 100～120V, 200～240V*3	DC-48V
	変動範囲	AC 90～127.2V, 180～254.4V	DC -40～-57V	AC 90～127.2V, 180～254.4V	DC -40～-57V	AC 90～127.2V, 180～254.4V	DC -40～-57V
周波数		50/60±3Hz	—	50/60±3Hz	—	50/60±3Hz	—
最大入力電流		1.1A @AC100V 0.6A @AC200V	2.2A @DC-48V	1.2A @AC100V 0.6A @AC200V	2.4A @DC-48V	1.2A @AC100V 0.6A @AC200V	2.5A @DC-48V
	SFPP-ZR 搭載時	1.1A @AC100V 0.6A @AC200V	2.3A @DC-48V	1.2A @AC100V 0.6A @AC200V	2.5A @DC-48V	1.3A @AC100V 0.7A @AC200V	2.7A @DC-48V
最大消費電力		105W		115W		120W	
	SFPP-ZR 搭載時	110W		120W		125W	
最大発熱量		378kJ/h		414kJ/h		432kJ/h	
	SFPP-ZR 搭載時	396kJ/h		432kJ/h		450kJ/h	

*1　コネクタ類の寸法は含みません。
*2　本体のみの質量です。ケーブル類，ラック取り付け金具は，メモリーカード，トランシーバの質量は含みません
*3　本装置付属の電源ケーブルは，AC100V のみに対応しています。

2.2.1　一般設備条件

表 2-11 を下記に訂正します。(P137)

【訂正】

表 2-11　環境条件（電源冗長モデル）

<table>
<tr><th colspan="2" rowspan="3">項　目</th><th colspan="6">仕様</th></tr>
<tr><th colspan="2">AX3630S，AX3640S</th><th colspan="2">AX3650S</th><th colspan="2">AX3830S</th></tr>
<tr><th>静音重視設定[*1]</th><th>冷却重視設定[*1]</th><th>静音重視設定[*1]</th><th>冷却重視設定[*1]</th><th>静音重視設定[*1]</th><th>冷却重視設定[*1]</th></tr>
</table>

～　省略　～

<table>
<tr><td rowspan="4">温度</td><td rowspan="2">動作時</td><td colspan="2" rowspan="2">0～40℃
（奨励値 23～28℃）</td><td colspan="2" rowspan="2">-10～50℃
（奨励値 23～28℃）[*5][*7]</td><td colspan="2">前面吸気・背面排気 構成時
-10～50℃
（奨励値 23～28℃）[*5][*7]</td></tr>
<tr><td colspan="2">背面吸気・前面排気 構成時
-10～45℃
（奨励値 23～28℃）[*5][*7]</td></tr>
<tr><td>非動作時</td><td colspan="2">-10～43℃</td><td colspan="2">-10～50℃</td><td colspan="2">-10～50℃</td></tr>
<tr><td>保存および輸送</td><td colspan="6">-25～65℃</td></tr>
<tr><td rowspan="3">湿度[*6]</td><td>動作時</td><td colspan="2">10～85%
（奨励値 45～55℃）</td><td colspan="4">10～90%
（奨励値 45～55℃）</td></tr>
<tr><td>非動作時</td><td colspan="2">8～85%</td><td colspan="4">8～90%</td></tr>
<tr><td>保存および輸送</td><td colspan="2">5～85%</td><td colspan="4">5～90%</td></tr>
</table>

*1　装置ファンの運転モードの設定です。
*2　ISO7779 による実測値
*3　入気温度によってファン回転数を制御しています。そのため，騒音の値は変化します。
*4　浮遊粉塵濃度測定方法通則（JIS Z 8813）による
*5　装置起動時や SFP-BX1U/1D，SFP-BX4U/4D 使用時は，0℃～上限値までとなります。
*6　結露しないこと
*7　SFPP-ZR 使用時の上限値は 40℃となります。

注意

SFPP-ZR は 40℃を超える環境で使用しないでください。誤動作，故障の原因となります。system temperature-warning-level コマンドで，装置の入気温度が指定温度以上になった場合に運用メッセージを出力することができます。コマンドの詳細についてはコンフィグレーションコマンドレファレンスを参照してください。

NOTE

装置ファンの運転モードの詳細については運用コマンドリファレンスを参照してください。

NOTE

入気温度は show system コマンド，show environment コマンドで確認できます。コマンドの詳細については運用コマンドリファレンスを参照してください。

3. インターフェースケーブルおよび端末の準備（P163～P170）

表 3-1 を下記に訂正します。（P164）

【訂正】

表 3-1　インタフェースケーブル，端末接続ケーブル

<table>
<tr><th>ポート/スロット</th><th>トランシーバ</th><th>インターフェース</th><th>ケーブル</th><th>コネクタ</th></tr>
<tr><td colspan="5">～　省略　～</td></tr>
<tr><td rowspan="3">SFP スロット
SFP+スロット</td><td rowspan="3">SFP-LX
SFP-LX(T)</td><td rowspan="3">1000BASE-LX</td><td>マルチモード光ファイバケーブル[*1]
（コア/クラッド径=50/125μm）</td><td rowspan="3">LC2 芯
コネクタ</td></tr>
<tr><td>マルチモード光ファイバケーブル[*1]
（コア/クラッド径=62.5/125μm）</td></tr>
<tr><td>シングルモード光ファイバケーブル
（コア/クラッド径=10/125μm）</td></tr>
<tr><td colspan="5">～　省略　～</td></tr>
<tr><td rowspan="9">SFP+スロット</td><td rowspan="2">SFPP-SR</td><td rowspan="2">10GBASE-SR</td><td>マルチモード光ファイバケーブル
（コア/クラッド径=50/125μm）</td><td rowspan="5">LC2 芯
コネクタ</td></tr>
<tr><td>マルチモード光ファイバケーブル
（コア/クラッド径=62.5/125μm）</td></tr>
<tr><td>SFPP-LR</td><td>10GBASE-LR</td><td rowspan="3">シングルモード光ファイバケーブル
（コア/クラッド径=10/125μm）</td></tr>
<tr><td>SFPP-ER</td><td>10GBASE-ER</td></tr>
<tr><td>SFPP-ZR</td><td>10GBASE-ZR</td></tr>
<tr><td>SFPP-CU30C</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr>
<tr><td>SFPP-CU1M</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr>
<tr><td>SFPP-CU3M</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr>
<tr><td>SFPP-CU5M</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr>
<tr><td colspan="5">～　省略　～</td></tr>
</table>

*1　1000BASE-LX でマルチモード光ファイバを使用する場合，モード・コンディショニング・パッチコードが必要です。モード・コンディショニング・パッチコードの仕様は，62.5 μm光ファイバ用と 50 μm 光ファイバ用で異なることに注意してください。

4. 機器の設置（P171～P250）

4.8.2 SFP（SFP-T，SFP(T)を除く），SFP+の取り付けと取り外し

下記に訂正します。（P223）

【訂正】

!注意

レーザー光を使用しています（レーザー光は無色透明で目に見えません）。光送受信部を直接のぞいたり，光学機器を通してのぞいたりしないでください。

!注意

SFPP-ZR 動作中(リンク確立中)の温度は，最高 65℃になります。動作中および動作停止直後は手を触れないでください。やけどの原因となります。
なお，SFPP-ZR を取り外す場合は以下の手順に従ってください。以下の手順に従わないとやけどの原因となります。
・装置の電源を入れたままで取り外す場合は， SFP+スロットを閉塞してから 5 分後に取り外す
・装置の電源を切断して取り外す場合は，電源を切断してから 5 分後に取り外す

NOTE

SFP+スロットを閉塞するにはshutdownコマンドを使用します。shutdownコマンドについては，「ソフトウェアマニュアル　コンフィグレーションガイド」を参照してください。

（1）取り付け方

～　省略　～

付録（P283〜P296）

付録 B.3　イーサネット 1000BASE-X インタフェース

表 B-7 を下記に訂正します。（P291）

表 B-7　1000BASE-LX 物理仕様

項目	物理仕様			
ケーブル種	マルチモード*1			シングルモード
コア/クラッド径	50/125μm		62.5/125μm	10/125μm
伝送帯域	400MHz・km	500MHz・km	500MHz・km	-
発光中心波長	1.270〜1.355μm			
光送信電力（平均値）	-11.5〜-3.0Bm			-11.0〜-3.0Bm
光受信電力（平均値）	-19.0〜-3.0dBm			
光伝送損失（最大値）	7.5dB			8.0dB
伝送距離	2〜550m			2m〜5km

*1　1000BASE-LX でマルチモード光ファイバを使用する場合，モード・コンディショニング・パッチコードが必要です。
モード・コンディショニング・パッチコードの仕様は，62.5 μm光ファイバ用と 50 μm 光ファイバ用で異なることに注意してください。

付録 B.4　イーサネット 10GBASE-R インタフェース

表 B-14 を下記に訂正します。（P294）

表 B-14　10GBASE-ZR 物理仕様

項目	物理仕様
ケーブル種	シングルモード
コア/クラッド径	10/125μm
発光中心波長	1.530〜1.565μm
光送信電力（平均値）*2	+0.5〜+4.0dBm
	0〜+4.0dBm
光受信電力（平均値）	-24.0〜-7.0dBm
光伝送損失（最大値）*2	24.5dB*1
	24.0dB*1
伝送距離	2m〜80km

*1　光伝送損失が 15dB 以下の場合は，光アッテネータを使用して損失を調整してください。
*2　上段は XFP-ZR，下段は SFPP-ZR の値となります。